

早期発見で乳がんを防ごう！！

～乳がん検診を受けていますか？～

最近“乳がん”という言葉聞く機会が多くありませんか？著名人がテレビやインターネットなどで乳がんの公表をして注目を集めています。乳がんは、早期発見・早期治療で治る可能性が高い病気と言われています。乳がんを防ぐには日頃からの自己検診も重要ですが、自己検診だけでは発見できづらいものもあり、マンモグラフィ（乳房専用レントゲン検査）を使用した検診が一番効果的と言われています。

女性のがん、第1位は乳がん

◆乳がんと診断される人は年間約7万人

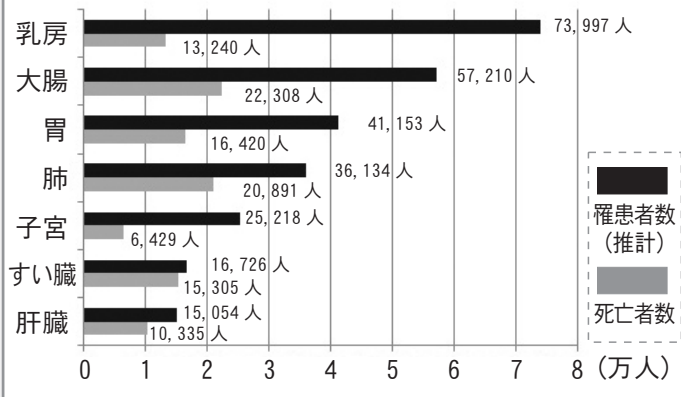
日本では、女性がなるがんの第1位が乳がん、毎年約7万人が新たに乳がんと診断されています。（表1）また、女性だけではなく、男性も乳がんになる場合があります。

◆乳がんとは

乳がんは乳房の中にある乳腺にできる悪性の腫瘍です。乳がんになる人の割合は30

表1 女性のがんの部位別罹患者数・死亡者数

資料：国立がん研究センター・がん対策情報センター



歳代から増加し始め、その後50歳代より減少する傾向にあります。

◆乳がんの症状

乳房にしこりがある、乳首から分泌液が出るなどが乳がんの主な症状ですが、初期の乳がんには食欲がなくなる、体調が悪くなるなどの症状もほとんどありません。また、しこりなどが現れないがんもあります。気付いたときには乳腺の外にまでがん細胞が増殖し、血管やリンパ管を通じて全身へと拡がっている場合があります。乳房のわずかな変化を見逃さず、少しでも気になるときはすぐ病院に行きましよう。

◆滝川保健所管内最低の乳がん検診受診率

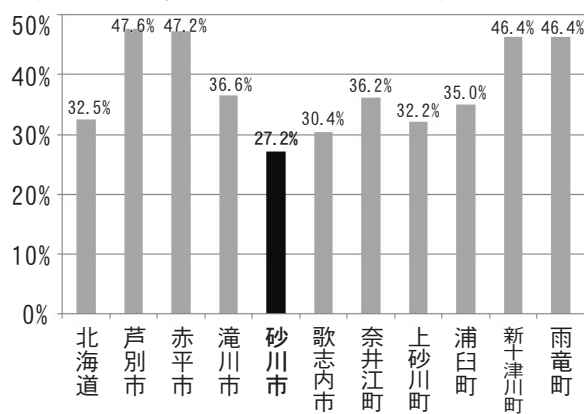
滝川保健所管内で、砂川市は10市町中、10位と1番低い受診率（表2）となっています。これは「受診したいときに検診を受けられない」「検診を受け忘れてる」などの理由が、大きく影響しています。

◆30歳からの乳がん検診で、がんを早期発見！

乳がん検診では、症状が現れにくい早期のがんを発見することができます。また、死亡率も他の部位と比べて高くはなく、早期であるほど治療率が高い病気です。さらに、しこりがあっても、リンパ節への転移がなければほぼ完治できるといわれています。

表2 滝川保健所管内乳がん検診受診率

資料：平成25年度地域保健・健康増進事業報告（厚生労働省）



す。国の指針では40歳からの検診や隔年での実施を奨励していますが、市では乳がん検診と診断されることが増加する30歳以上に検診の受診年齢を引き下げ、また、隔年でしか受けられなかった検診が毎年受診することができるようになっています。さらに今年度から市立病院での検診も可能となりました。市立病院では、妊産婦や授乳中の方でも安心して検診を受けることができる体制が整っていますので、ぜひ受診の相談をしてください。

◆詳細

ふれあいセンター ☎2000

乳がんの発見をより正確に 最新鋭マンモグラフィ導入！！

～患者さんの負担も大幅に軽減～



▲ 最新鋭のマンモグラフィ

市立病院では9月27日から、新しいマンモグラフィが稼動しました。マンモグラフィの導入にあわせ撮影室も改装し、女性にとって安心して、そして落ち着いて検査を受けることができるようにと、撮影室の広さを約2倍にし、壁紙もピンク色にするなど、患者さんに配慮した環境になっています。新しく導入されたマンモグラフィは、現時点で最上位の機能を持つ、北海道には数台しか導入されていない機器で、空知管内では初の導入となります。この機器の1番の特徴は、1回の撮影で多方向からX線の照射（断層撮影）を行うことができるようになったことで、格段に精度の高い診断が受けられるようになりました。さらに、その場でがんが疑われる場合、従来の機器では札幌などでしかできなかった「生検」と呼ばれる精密検査も可能となり、患者さんの負担が大幅に軽減されます。また、デジタル撮影になったことで、現像する時間など、大幅に時間短縮が図られるとともに、画像が劣化することなく読み取れ、診断がより正確にできるようになりました。

乳がんは早期発見と診断・治療が大切！！

最新鋭のマンモグラフィの導入で乳腺に関することは、全国の病院にも引けをとらない設備や体制が整っています。乳がんにとって一番大切なことは、一刻も早く乳がんを見つけること、そして適切な診断と治療をすることです。マンモグラフィの撮影は非常に高度な技術が必要となりますが、当院には専門の資格を取得した放射線技師もおり、日頃より勉強会なども開催して乳がんの知識向上に努めています。乳腺に関する心配ごとがあれば、検査・治療を受けられる環境が整っていますので、ぜひ乳腺外科を受診してください。診察日は毎週火曜日・水曜日の午後と、木曜日の午前・午後です。



市立病院 乳腺外科
部長 細田 充主

◆お問い合わせ 市立病院☎2 1 3 1

乳がん検診の受診が、ますます便利に受けやすくなりました

通常5,000～7,000円程度の負担が必要となる乳がん検診ですが、市民の方は市立病院で受診すると、下記の料金で検診を受けることができます。

◆検診費 ● 30～40歳代：2,600円 ● 50歳以上：2,200円

※ 国民健康保険・後期高齢者医療保険加入者は上記金額の半額、生活保護受給者は無料。また、無料クーポン券も使用することができます。なお、クーポン券を使用する方は直接市立病院へ申し込みください

◆検診日 毎週水曜日の午前・午後、木曜日の午後

◆予 約 受診する日にちを決めて、ふれあいセンターへ申し込みください。ふれあいセンターに申し込みずに受診された場合は、全額自己負担となりますのでご注意ください

※ 乳がん検診とあわせて、子宮がん検診や大腸がん検診も受診できます。詳細はお問い合わせください

◆詳細・申込 ふれあいセンター☎2 0 0 0へ